

# 獲得者説明会(科研費補助金対象)

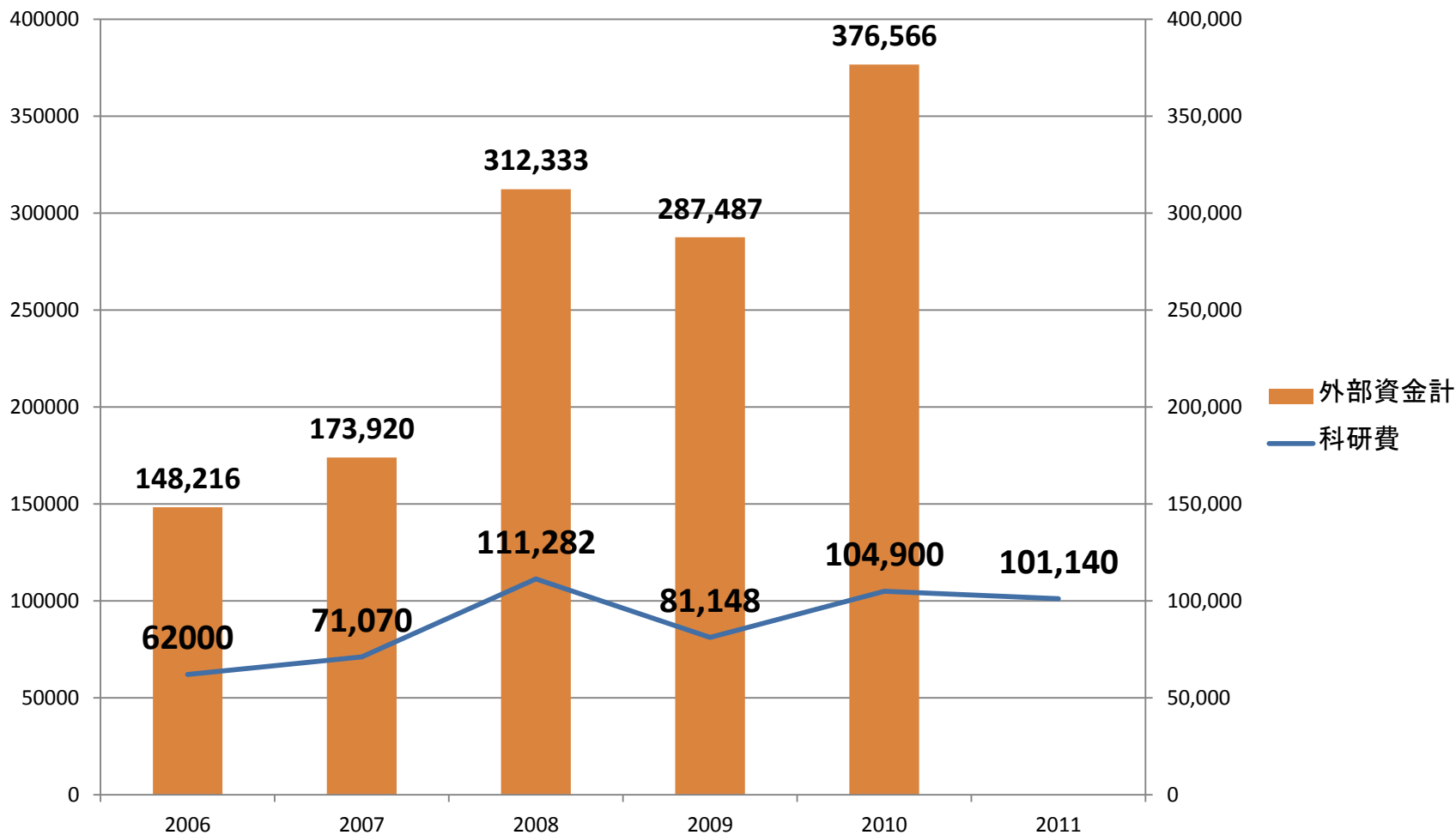
## ◆本日の予定

- 1) 配付物確認
- 2) 科研費(補助金)ルール説明
- 3) 学内公的資金使用ルールの説明

アンケートにご協力をお願いします。

# H23年度私大獲得額74位(550大学中)

科研費は外部資金の核 1億円で推移(年度単位合計)



## ●今後の新情報 2点

1. 第4期科学技術基本計画 H23.8月発表予定  
H23年度から5年間の国の方針 25兆円
  - ①グリーンイノベーション、ライフイノベーション
  - ②「震災復興・再生」と連動しながら
2. 科研費一部基金化H23新規より
  - ①高かった採択率30%(全国)  
対象：「若手(B)」「挑戦的萌芽」「基盤C」
  - ②前倒し、次年度繰越が容易に可能

# 学外連携推進室 2011年度の目標

## 攻め 新たな外部資金獲得

- ①教育系(本学現す理数“力”)
- ②産学系(例:シーズ発掘、フォーラム参加数を最大へ)

攻めと守りのバランス  
理大のイメージ向上へ

## 守り: 公的資金の適正な管理運営

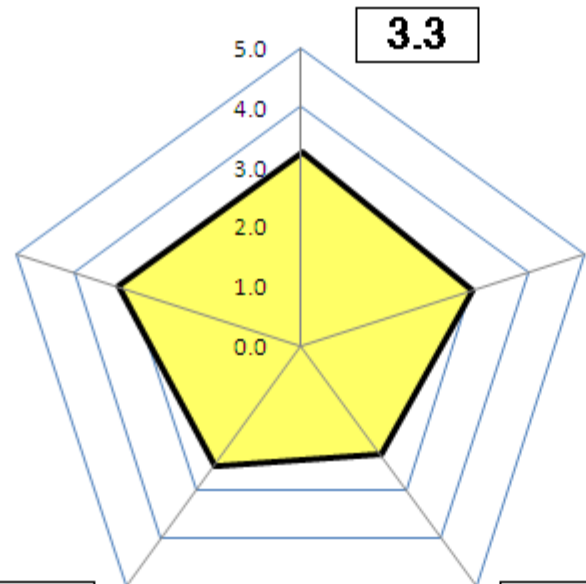
2011年①科研費 ②OBEP

③GP3本〔昨年5本〕 ④共同・受託 ⑤グリーン元素、地球惑星 等

公的資金の適正な運用により研究者保護

大学＝研究力＋教育力＋社会貢献

1. 関係者の意識向上に関する事項



5. 研究費のモニタリングに関する事項

2. 適正な運営・管理の基盤となる環境に関する事項

4. 不正防止対策に関する事項

3. 不正発生要因の把握に関する事項

# 公的資金使用の学内ルール

1. 2010年度3回あった視察。

視察側の指摘点【P2-5】

補助金＝税金＝納税者が納得できるか。

「最小の経費で最大の効果を」

「本学→適正な運用により研究者保護」

2. 書類は5年間保管義務

→5年後に見ても書類で説明できること。

# 5年後に説明できるために【P6】

5つのルールを設定しました。

## ルール1) 【P7】

学内規程 & 補助金の両方のルールを守る。

# 5年後に説明できるために【P7】

ルール2) 計画的に購入する。

× 年度末集中

→ 短期で研究できるか疑問視？

→ 目安: 第3四半期11月末には8割目安

(ただし通常時)



# 5年後に説明できるために【P7】

## ルール3) 本学のルール 5万円と20万円

### ●発注権限について

① 20万円未満 = 研究者発注範囲です。

競争見積 = 5万円以上は2社競争見積添付

② 20万円以上 = 事務局が契約を行います。

### ●ルール違反事項

× 事務局が発注すべき20万円以上の物品を分割し、  
研究者が発注する。例)一式20万以上の物品の分割購入

× 5万円以上競争見積を避けるために分割購入。

例) 4万円の複数台購入を5万円以下に伝票を分ける。

# 5年後に説明できるために【P8】

ルール4. ●納品前には検収が必要です。

●発注時(20万円未満)

業者に「補助金名＋検収を受ける」を伝える。

●納品時

1) 20万円未満

業者→ 学外連携推進室で検収後→研究者

2) 20万円以上 事務局が発注・検収。

3) 立替払 原則禁止。

# 5年後に説明できるために

## ルール5. 出張

### 1. 出張伺い+1)~3)のいずれか添付【P8】

1) 学会発表等 = 正式なプログラム

2) 研究者間打合せ = 招聘メール。

3) フィールドワーク等 = 出張予定表【P10】

### 2. 出張報告【P11】

1) **日ごとに簡潔に記載(5W1H)。**

2) **補助事業への成果を記載。**

# 大震災による科研費への影響

## 1) 国からの通知の内容(7月11日着)

- ①震災復興財源確保面から、交付決定額に関わらず減額される可能性有り。
- ②分割払い。7月に交付決定額の7割。
- ③残金の支払は未定。
- ④補助金の慎重な執行に留意する。

## 2) 間接経費の要望割合も変更。→7月25日 ✕

7割の40% = 28%に縮小。

アンケートにご協力を  
お願いします。

ご相談は学外連携推進室まで  
1学舎1階(学長室隣)